

臨床研究に関する公開情報

【研究名】

巨細胞性動脈炎における側頭動脈エコー検査の診断性能に関する検討

【研究の概要】

巨細胞性動脈炎は、これまで側頭動脈の組織を採取する生検という方法で診断されてきました。しかし、生検には問題点もいくつかあります。たとえば、病気があるにもかかわらず結果が陰性（病気でないという結果）になってしまうことがあること、生検は体に負担がかかること、検査の際に合併症を引き起こす可能性があること、などです。

一方で、エコー検査は体への負担が少なく、素早く結果を得られるうえ、結果の信頼性も高いため、巨細胞性動脈炎の診断方法として使われることが増えています。特に、側頭動脈のエコー検査で血管の形や変化を観察することで巨細胞性動脈炎であるかどうかを判断しています。その一方で、血管の壁の厚みも判断の手がかりとして注目されています。

この研究では、側頭動脈のエコー検査で、血管の形だけでなく、血管の壁の厚みも診断の指標としての程度有効なのかを調べることを目指しています。

【対象となる患者様】

2011年1月から2021年12月までの期間内に天理よろづ相談所病院を受診し、巨細胞性動脈炎の疑いで側頭動脈エコー検査を受けた方を対象とします。

【研究に使用させていただく診療データ】

年齢、性別、基礎疾患、合併症、投薬歴

巨細胞性動脈炎の診断時の臨床所見、血液検査所見、側頭動脈エコー所見、側頭動脈病理所見
治療経過

【個人情報の取扱と倫理的事項】

データは、氏名、生年月日、住所などを削除し、匿名化した上で解析します。この研究成果は学術誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者様のプライバシーは守られます。なお、この研究は、当院の臨床研究審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

【データを利用するものの範囲と管理】

データの取得および解析を行う者は、研究責任者に限られます。データはパスワードが設定されたパソコン内に保管され、施錠された医局で厳重に管理されます。データが院外に提供されることはありません。院外の者が当院内において本研究に従事し、患者情報に接することはありません。

【お問い合わせ】

本研究においてご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書やその他の資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせず、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも、患者様に不利益が生じることはありません。

【研究責任者】

天理よろづ相談所病院 総合内科 三宅 啓史

住所：奈良県天理市三島町200番地

電話：0743-63-5611(大代表)